

第 1 回宮崎市総合計画審議会における課題資料

Q 1 : 総合計画策定に若い人たちの意見を取り入れる手法を考えてはどうか。

A 1 : ご指摘のありました若い人たちの意見を計画づくりに反映していくために、今後、若者で構成される団体などの会合に出向き、ご意見等を伺い、計画策定に反映していきます。(意見を反映した修正を提示できるのは、第 4 回審議会以降となります。)

また、インターンシップで市役所に業務実習にお見えになる学生の意見も伺っていきたくと考えています。

Q 2 : 前期基本計画の進行管理について、市民参加の仕組みがあったのか？

A 2 : 前期計画の検証は、第 1 回審議会でご提示した「ふり返し資料」を審議会に提出する形で行ったところです。毎年の進捗については、事務事業の進捗度などを示す評価表をホームページで広く市民に公表しているほか、定期的に市民意識調査によってその評価を調査し、公表しているところです。今後、さらに進捗状況を市民の皆様に理解していただけるための工夫をしてまいりたいと考えています。

Q 3 : 市民意識調査について、回答者の年齢、居住地区等を加味した精度の高い情報を入手するために設問を工夫すべき。また、回収率を高めるために地域まちづくり推進委員会や自治会等を活用してはどうか。

A 3 : 市民意識調査については、後期基本計画の策定後も定期的を実施する予定です。具体的な検討は来年度に行いますが、ご提案の設問内容や調査方法については、検討時に参考にさせていただきます。

Q 4 : 審議会の資料を見やすく分かりやすいものにして欲しい。

A 4 : 資料の作成にあたっては、委員の皆さんが分かりやすい資料になるよう鋭意努めます。